

発展
* 2 2

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル (その3)

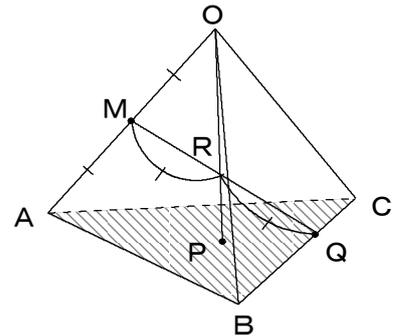
【No. 2 2の後で学習☆発展問題】 (1/6)

平面と直線の交点の位置ベクトル(発展)

◇《平面と直線の交点の位置ベクトル(発展)》 学力化 →

★解法の技術★

四面体 $OABC$ の辺 OA の中点を M , 辺 BC を $2:1$ に内分する点を Q , 線分 MQ の中点を R とし, 直線 OR と平面 ABC の交点を P とする. $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とするとき, \vec{OP} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表しなさい.



[答 案]

1 (共線条件を示す)

点 P は直線 OR 上の点なので, k を実数として

$$\vec{OP} = k \vec{OR}$$

と表せる.

ここで,

- ・点 M は辺 OA の中点であるから,

$$\vec{OM} = \frac{1}{2} \vec{a}$$

- ・点 Q は辺 BC を $2:1$ に内分する点であるから,

$$\vec{OQ} = \frac{1 \vec{b} + 2 \vec{c}}{2 + 1} = \frac{\vec{b} + 2 \vec{c}}{3}$$

- ・点 R は線分 MQ の中点であるから,

$$\vec{OR} = \frac{\frac{1}{2} \vec{a} + \frac{\vec{b} + 2 \vec{c}}{3}}{2} = \frac{3 \vec{a} + 2 \vec{b} + 4 \vec{c}}{12}$$

$$= \frac{1}{4} \vec{a} + \frac{1}{6} \vec{b} + \frac{1}{3} \vec{c}$$

よって,

$$\vec{OP} = k \left(\frac{1}{4} \vec{a} + \frac{1}{6} \vec{b} + \frac{1}{3} \vec{c} \right)$$

$$= \frac{1}{4} k \vec{a} + \frac{1}{6} k \vec{b} + \frac{1}{3} k \vec{c} \quad \dots \textcircled{1}$$

(次のページへつづく) →

□ □ 【空間のベクトル No. 22s (1/6)】 - (2枚目/2枚)

➡ (前のページからのつづき)

2 (共面条件を示す)

また、点Pは平面ABC上にあるので、

$$\vec{OP} = s\vec{a} + t\vec{b} + u\vec{c}, \quad s + t + u = 1 \quad \dots ②$$

である。

3 (係数を比較し、kの値を求める)

①と②の係数を比較して、

$$\frac{1}{4}k = s, \quad \frac{1}{6}k = t, \quad \frac{1}{3}k = u \text{ で、}$$

また、 $s + t + u = 1$ であるから、

$$\frac{1}{4}k + \frac{1}{6}k + \frac{1}{3}k = 1$$

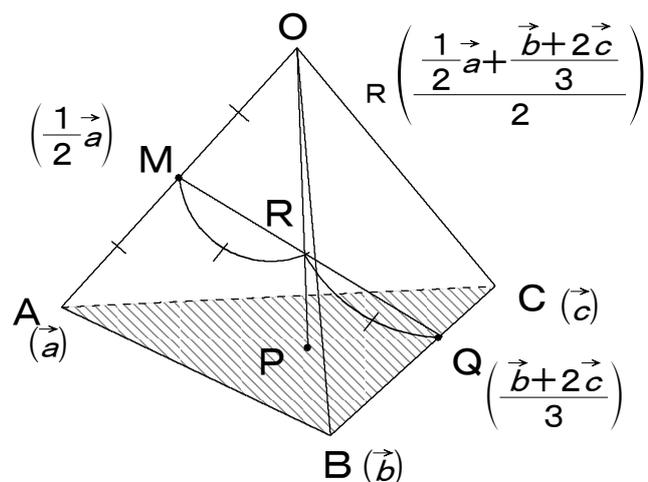
$$3k + 2k + 4k = 12$$

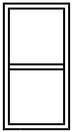
$$9k = 12 \text{ より、} k = \frac{4}{3} \quad \dots ③$$

4 (答をまとめる)

③を①に代入して、

$$\begin{aligned} \vec{OP} &= \frac{1}{4} \cdot \frac{4}{3} \vec{a} + \frac{1}{6} \cdot \frac{4}{3} \vec{b} + \frac{1}{3} \cdot \frac{4}{3} \vec{c} \\ &= \frac{1}{3} \vec{a} + \frac{2}{9} \vec{b} + \frac{4}{9} \vec{c} \end{aligned}$$





第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル (その3)

【No. 2.2の後で学習☆発展問題】 (2 / 6)

◇ 《平面と直線の交点の位置ベクトル (発展)》 **学力化** → /

----- ★理解のチェック★ -----

四面体 $OABC$ の辺 OA を $1:2$ に内分する点を D , 辺 BC を $3:2$ に内分する点を E ,
 線分 DE の中点を M とし, 直線 OM と平面 ABC の交点を P とする。

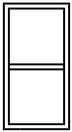
また, $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とする。

- (1) \overrightarrow{OM} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表しなさい。
- (2) \overrightarrow{OP} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表しなさい。

[答 案]

【注】授業で使う「テキスト(プリント)」には,

- ・解法の全体の方針や流れを示すガイド (【考え方】) や
- ・答案作成フォーマット(共通テストに準じた誘導ガイド)
が印刷されています。



第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル (その3)

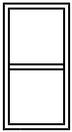
【No. 2 2の後で学習☆発展問題】 (3 / 6)

◇ 《平面と直線の交点の位置ベクトル (発展)》 **学力化** → /

◇ 発展演習 ◇ **【 1 】**

四面体 $OABC$ の辺 OA , OB , OC をそれぞれ $1:2$, $1:1$, $2:1$ に内分する点を順に D , E , F とする。頂点 O と $\triangle DEF$ の重心 G を通る直線が, 3点 A , B , C の定める平面 ABC と交わる点を P とするとき, \overrightarrow{OP} を, \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} で表しなさい。

[答 案]



発展
* 2 2

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

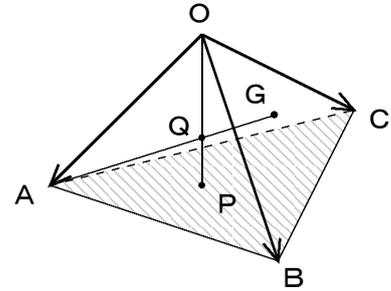
4 位置ベクトル (その3)

【No. 2 2の後で学習☆発展問題】 (4 / 6)

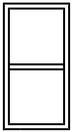
◇《平面と直線の交点の位置ベクトル (発展)》 **学力化** → /

◇発展演習◇【2】

四面体 $OABC$ において、 $\triangle OBC$ の重心を G 、線分 AG の中点を Q とし、直線 OQ と平面 ABC の交点を P とする。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ 、 $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ 、 $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とするとき、 \overrightarrow{OP} を \vec{a} 、 \vec{b} 、 \vec{c} を用いて表しなさい。



[答 案]



発展
* 2 2

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル (その3)

【No. 2 2の後で学習☆発展問題】 (5 / 6)

◇《平面と直線の交点の位置ベクトル (発展)》 学力化 → /

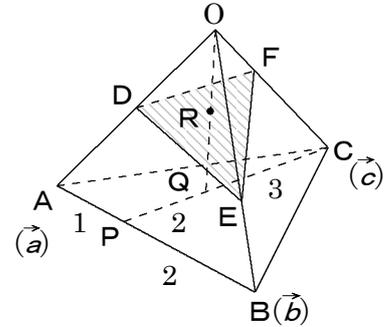
◇発展演習◇【3】

四面体 $OABC$ において、 $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とする。

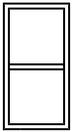
(1) 線分 AB を $1 : 2$ に内分する点を P とし、線分 PC を $2 : 3$ に内分する点を Q とする。 \vec{OQ} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表しなさい。

(2) D, E, F はそれぞれ OA, OB, OC 上の点で、
 $OD = \frac{1}{2} OA$, $OE = \frac{2}{3} OB$, $OF = \frac{1}{3} OC$ とする。

3点 D, E, F を含む平面と線分 OQ の交点を R とするとき、 \vec{OR} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表しなさい。



[答 案]



第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル (その3)

【No. 2 2の後で学習☆発展問題】 (6 / 6)

◇ 《平面と直線の交点の位置ベクトル (発展)》 **学力化** → /

◇ 発展演習 ◇ **【 4 】**

四面体 $A B C D$ の辺 $B C$ の中点を P , 線分 $P D$ の中点を Q , 線分 $A Q$ の中点を R とする。
また, 直線 $B R$ と平面 $A C D$ の交点を S とする。

$\overrightarrow{A C} = \vec{c}$, $\overrightarrow{A D} = \vec{d}$ とするとき, $\overrightarrow{A S}$ を \vec{c} , \vec{d} を用いて表しなさい。

[答 案]